

『時事直言』 No.1478 2021年6月11日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

What's next ? 次は何だ？

第一次大戦(1914 - 1918)が終わった時、What's next ?と考えると第二次大戦が起き、第二次大戦(1939 - 1945)が終わると1947年から米ソ東西冷戦が始まり、1991年ソ連崩壊で終わった。

これでアメリカの一人天下かと思っていると、2001年9月11日WTC(世界貿易センター)が爆破され、以後(War on terror)対テロ戦争(2001年10月米軍アフガン攻略)が起き、2020年米軍のアフガン撤退で終わった。

ところが2017年から大統領になったトランプは対中敵視政策に専念、米中冷戦に突入した。

アメリカは「ドンパチ」であれ「騙し合い」であれ、一時たりとも戦争を止めたことがない、いや止められない。「平和とは戦争準備」という私の口癖を地で行っているのがアメリカである。

人間から衣服、食料、住まいを取り除いて裸にすると何をするか。

人間は衣食住を得るために「騙し合い」と言う名の取引か、取引が駄目なら「ドンパチ」(暴)に訴える。

人間は死ぬまで生きなくてはならないから死ぬまで戦わなくてはならない。

こうした人間の摂理を知る者は「夢」が持てないから人から好かれない。

でも資本が人間の摂理に従って動くことを知っているから資本の先回りをして事前に網を張ってしまつて儲ける。

世界は中央銀行のゼロ金利・無制限緩和で夢が実現されたと思って(錯覚して)喜んでいる。

テスラの創業者イーロン・マスクは夢を売って2兆円も儲けた。

夢が幻想でしかなかったことがばれる前に、そしてコロナで人の目が見えなくなっている間に「目先」を変えなくてはならなくなった。

パスワード変更を求められ、今までの自分ファースト(利己的競争)から、みんなで渡れば怖くない共生の世界へ誘導されることになった。

パニックを避ける為、夢の演出手段であったゼロ金利・無制限金融緩和は徐々に縮小される。

では緩和頼りの株式市場にとって What's next ?

小さい政府ならではの金融が駄目なら大きい政府の専売特許の財政があるさ。

競争と騙し合いのNYが駄目なら正直でみんなで渡る東京があるさ！

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

増田俊男の「目からウロコのインターネットセミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネットセミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。